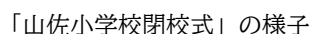
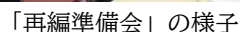
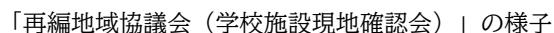
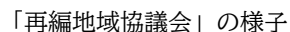


					決算事項別明細書			P59						
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署		教育総務課						
中事業		20	学校教育の充実			予算科目	会計	01	一般会計					
小事業		13	事務局費				款	10	教育費					
事業開始年度			令和7年度				項	01	教育総務費					
事業進捗度			－				目	02	事務局費					
当 初 予 算 額			5,535,000 円			目的	教育委員会事務局の円滑な運営を図る。							
予 算 現 額			4,717,000 円											
決 算 額 A			4,231,585 円											
財源内訳	国・県支出金		0 円											
	地 方 債		0 円											
	そ の 他	諸収入	3,952,249 円											
	一 般 財 源		279,336 円											
人件費コスト B		1.0人役	7,873,000 円		総事業費 A+B		12,104,585 円							
【事業名称】										事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【事務局運営事業費】										4,231,585円	0円	0円	3,952,249円	279,336円
会計年度任用職員の雇用や他団体との連携のための各種負担金、会議研修旅費、事務局運営に係る諸経費等を執行し、事務局の円滑な運営を行った。														
● 経費の内訳														
・ 報酬 1,793,600円														
・ 職員手当等 633,432円														
・ 共済費 412,015円														
・ 報償費 12,760円														
・ 旅費 226,468円														
・ 交際費 62,338円														
・ 需用費 110,779円														
・ 役務費 161,396円														
・ 備品購入費 158,180円														
・ 負担金補助及び交付金 660,617円														
合計 4,231,585円														

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【小中学校適正配置事業費】	10,793,000円	0円	8,200,000円	1,900,000円	693,000円
令和5年11月に策定した「安来市立小中学校適正配置基本計画」に基づき、再編対象となっている学校の個別基本計画策定、開校に向けた準備会の開催など適正配置の推進を行った。					

・ 報償費	96,000円
・ 委託料	10,197,000円
・ 負担金補助及び交付金	500,000円
合計	10,793,000円

再編中学校の整備基本計画の策定において、現第二中学校の校舎の取り扱いの検討に時間を要したこと
から繰越。



				決算事項別明細書				P59	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課		
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		16	保健事業費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	01	教育総務費	
事業進捗度			－			目	02	事務局費	
当 初 予 算 額			8,351,000 円		目的	児童生徒、教職員の健康状態を把握し、その保持増進を図る。			
予 算 現 額			8,034,000 円						
決 算 額 A			7,545,900 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他		諸収入	1,074,560 円					
	一 般 財 源			6,471,340 円					
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		12,269,700 円		
【事業名称】									
【教職員健康診断及び各種検査】			3,604,763円	0円	0円	0円	3,604,763円		
各学校の教職員を対象に健康診断、胃がん検診及びB型肝炎抗体検査を実施した。また、教職員のメンタルヘルスとして、希望者を対象とした月1回のメンタルヘルス面談を実施、新規採用教職員全員を対象にメンタルヘルス面談を実施するとともに、産業医の委嘱を行った。そのほか、プール水質検査・飲料水水質検査を実施した。									
● 受診者数：健康診断161人 胃がん検診26人 B型肝炎抗体検査21人									
● 各小学校における飲料水検査の実施（対象：9校）									
【就学時健康診断】			749,985円	0円	0円	0円	749,985円		
小学校就学予定者を対象に、内科、歯科、耳鼻咽喉科及び眼科医による健康診断や視力・聴力測定及び知的発達スクリーニング検査を実施した。また、健康診断時に必要な器具等を購入した。									
【スポーツ振興センター負担金】			2,305,630円	0円	0円	1,074,560円	1,231,070円		
独立行政法人日本スポーツ振興センターと学校設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒等（負傷、疾病、障がい又は死亡）に対し災害給付金（医療費、障がい見舞金又は死亡見舞金）の支給事務を行った。また、加入時の負担金（1/2は保護者負担）を支出した（要保護・準要保護児童生徒を除く）。									
【学校保健一般管理費】			885,522円	0円	0円	0円	885,522円		
学校でのフッ化物洗口実施に係る薬品や保健室備品等を購入するなど学校保健環境の整備、学校管理下での被災時に児童生徒の緊急移送を行った。また、学校保健会に対する負担金の支出、学校保健功労者への表彰、学校保健に関する研修を開催するなど、学校医や学校薬剤師、養護教諭等が連携し学校保健の普及と向上を行った。									

					決算事項別明細書			P59	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課		
中事業		30	生涯学習の推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		10	ふるさと連携教育推進事業費			款	10	教育費	
事業開始年度		令和7年度		項		01	教育総務費		
事業進捗度		－		目		02	事務局費		
当初予算額			8,161,000 円		目的	家庭や地域と連携し、地域の教育資源を活用できる「ふるさと」を切り口に児童・生徒の豊かな人間性や社会性を育む。			
予算現額			8,161,000 円						
決算額 A			7,642,695 円						
財源内訳	国・県支出金		県	1,725,000 円					
	地方債			0 円					
	その他		基金	3,000,000 円					
	一般財源			2,917,695 円					
人件費コスト B		0.3人役	2,361,900 円		総事業費 A+B		10,004,595 円		
【事業名称】									
【ふるさと教育推進事業】		事業費		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
		5,818,220円		1,725,000円	0円	3,000,000円	1,093,220円		
地域の「ひと・もの・こと」に関わる学習を通じ、地域に対する愛着と誇りをもち、地域に貢献する心情や態度を育てた。									
【ふるさとに根ざした道徳教育推進事業】									
		600,284円		0円	0円	0円	600,284円		
島根県の中学校道徳教材に採用された「加納莞薈」に関連させ、加納美術館において名誉館長から直接講話を聞くなどし、平和への意識を高め、ふるさとを誇りに思う心情を醸成した。									
									
加納美術館における平和学習									
【学校運営協議会設置事業】									
		981,005円		0円	0円	0円	981,005円		
学校と地域が相互に理解を深め、教育活動を充実させることを目指し、市内全ての小中学校に設置する学校運営協議会に対して各校の取組への伴走支援を行った。									
									
第三中学校運営協議会の様子									
【中学校区での魅力ある学校づくり推進事業】		243,186円		0円	0円	0円	243,186円		
地域課題を意識した児童生徒の学習や、中学校単位で小中学校が連携して課題解決に取り組む「魅力ある学校づくり」等の一層の充実を図り、地域と連携・協働できる学校づくりを推進した。									

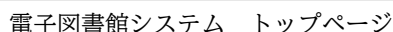
				決算事項別明細書			P60	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課	
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		19	外国語指導事業費			款	10	教育費
事業開始年度		令和7年度				項	01	教育総務費
事業進捗度		－				目	03	教育支援事業費
当初予算額			32,167,000 円		目的	各幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、児童・生徒の国際理解の促進や英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。		
予算現額			31,706,000 円					
決算額 A			31,578,972 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地方債		0 円					
	その他	諸収入	31,568 円					
	一般財源		31,547,404 円					
人件費コスト B		0.3人役	2,361,900 円		総事業費 A+B		33,940,872 円	
【事業名称】								
【外国語指導事業】			31,502,676円	0円	0円	31,568円	31,471,108円	
6名のALTを市内各小中学校、幼稚園、保育所、認定こども園に対し、学校規模に応じて週当たり小学校2～6コマ、中学校8～32コマ、幼児教育施設3～4日程度派遣し、ネイティブな音声表現に触れる機会を持つことで、外国語（英語）コミュニケーション能力の向上を図った。								
また、語学を通して他国の文化への興味・関心を養うなど、国際理解教育を推進した。								
● 主な事業費								
・ 外国語指導助手報酬（1名）※7月まで2名					5,740,000円			
・ 社会保険料等					835,256円			
・ 外国語指導助手派遣事業委託料（5名）※7月まで4名					24,516,800円			
・ 自治体国際化協会負担金					120,840円			
【英語力向上事業】			76,296円	0円	0円	0円	76,296円	
外国語教育の指導力向上のため、市内の教職員を対象に研修会を開催した。また、英語に関心のある児童生徒を対象に、ALTと英語中心で会話しながら活動することで主体的な英語コミュニケーションを図ることを目的にしたイングリッシュキャンプを実施した。								
								
イングリッシュキャンプの様子								

					決算事項別明細書				P60						
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署		学校教育課							
中事業		20	学校教育の充実			予算科目	会計	01	一般会計						
小事業		22	教育支援事業費				款	10	教育費						
事業開始年度			令和7年度				項	01	教育総務費						
事業進捗度			－				目	03	教育支援事業費						
当初予算額			210,859,000 円			目的	児童・生徒の個性に応じた教育の推進及び家庭や地域に対する働きかけにより、教育力の向上を図る。								
予算現額			179,570,000 円												
決算額 A			172,414,162 円												
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県	20,942,000 円												
	地方債		0 円												
	その他	基金外	50,010,695 円												
	一般財源		101,461,467 円												
人件費コスト B		1.5人役	11,809,500 円			総事業費 A+B		184,223,662 円							
【事業名称】											事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【特別支援教育・就学移行支援事業】											69,151,418円	0円	0円	311,064円	68,840,354円
指導講師及び支援員を配置し、児童生徒へ支援を行った。また、就学前の幼児に対し、発達相談等を行うとともに、支援が必要と思われる幼児とその保護者には継続して電話相談や『すこやか教室』での相談・支援を行った。															
【学校人権同和教育】											3,896,728円	0円	0円	17,982円	3,878,746円
指導講師による各校での職員研修や指導助言、学校人権・同和教育推進連絡協議会を通じ中学校区ごとの研究会開催や講演会の開催などにより市内幼稚園・小中学校の人権・同和教育の推進を図った。															
【学力向上事業】											4,727,674円	0円	0円	16,958円	4,710,716円
令和7年度に策定した「安来市学力育成推進計画」に基づき、3年計画で本市独自の「やすぎの学力育成プロジェクトⅡ」を実施しており、各種教職員研修、指定校によるA Iドリル効果検証、理科本物体験出前授業を3つの柱として取り組んだ。															
【就学援助事業】											28,738,091円	1,776,000円	0円	16,400,000円	10,562,091円
特別支援学級児童生徒の保護者に対する経済的負担の軽減や、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対する援助を行った。															
【学習支援員・スクールサポートスタッフ等配置事業】											52,343,807円	11,582,000円	0円	33,229,052円	7,532,755円
教職員の業務負担軽減のため20名のスクールサポートスタッフを配置した。また、外国人転入児童対応のため学習支援員を2名配置し、言語の支援を行った。															
【その他】											13,556,444円	7,584,000円	0円	35,639円	5,936,805円
教員不足に対応するため3名の緊急校務支援員を配置した。また、共同学校事務室運営費やインターネットバンキング負担金等学校の働き方改革に係る経費、学校運営に係る印刷製本費等の経費及び特別支援教育等の学校支援のための指導主事派遣負担金を負担した。															

				決算事項別明細書				P60		
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署			学校教育課		
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計		
小事業		25	児童生徒支援総合対策事業費			款	10	教育費		
事業開始年度			令和7年度			項	01	教育総務費		
事業進捗度			－			目	03	教育支援事業費		
当初予算額			37,266,000 円		目的	心理的・情緒的な要因で学校へ登校できない状態や集団に適応できない状態にある児童・生徒の支援を行う。				
予算現額			36,088,000 円							
決算額 A			33,179,622 円							
財源内訳	国・県支出金		県	3,542,000 円						
	地方債			0 円						
	その他		基金外	28,946,955 円						
	一般財源			690,667 円						
人件費コスト B		0.4人役	3,149,200 円		総事業費 A+B			36,328,822 円		
【事業名称】										
【教育支援センター運営事業（広瀬）】				19,687,731円	0円	0円	19,687,731円	0円		
センター長1名、相談員及び支援員9名を配置し、心理的・情緒的な要因により、不登校や集団に適応できない状態にある児童・生徒の学校復帰及び社会的自立を目指した支援の場として、教育支援センター『あすなろ』の運営を行い、年間18名が通所した。										
										
探求活動（松江探検）										
【教育支援センター運営事業（能義分室）】				2,835,486円	0円	0円	2,835,486円	0円		
能義こども園を教育支援センターあすなろ分室と位置づけ、一人一人の課題に応じた支援を必要とする不登校児童・生徒の居場所づくりを行い、年間3名が通所した。										
										
創作活動（ミニカー作成）										
【いじめ・不登校対策事業】				10,656,405円	3,542,000円	0円	6,423,738円	690,667円		
スクールソーシャルワーカー及び子どもと親の相談員を配置し、派遣指導主事とともに不登校相談やいじめ防止に関する教育相談を行った。小中学校や教育支援センターとの連携を図り、児童生徒の環境への働きかけや家庭と地域、児童福祉施設等との連携支援を行い、いじめや不登校など生徒指導上の課題に対応した。また、いじめの早期発見・対応のためWEBアンケート調査を実施し、支援の必要な児童等への対応を行い、生徒指導主事派遣負担金を負担した。										

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【学校図書館活性化事業】	8,607,521円	0円	0円	7,219,195円	1,388,326円
教育委員会事務局内に図書館・学力向上担当指導講師1名を配置し、学校図書館「学びのサポーター」の研修の実施や図書管理システムの活用等により、学校図書館の支援や機能の充実を図った。 また、プロテリアルの寄付金を活用し、電子図書館システムの構築を行い、市内の小中学校の児童生徒が、1人1台端末から電子図書館を利用できる環境を整備した。					

※集計期間：令和7年11月1日～令和8年3月31日



【学びのサポーター配置事業】	62,593,389円	15,105,000円	0円	47,488,389円	0円
学校司書等による学びのサポート事業補助金を活用し、各学校図書館に学びのサポーターを1名ずつ配置し、読書活動の推進やICTを活用した学習支援等、学校図書館を拠点とした子どもたちの学びを支援した。					

				決算事項別明細書				P60	
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署		教育総務課	
中事業		20	学校教育の充実			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		34	小学校管理費				款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度				項	02	小学校費
事業進捗度			－				目	01	学校管理費
当初予算額			218,188,000 円			目的	小学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校の維持管理を行う。		
予算現額			218,530,000 円						
決算額 A			191,660,609 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債	公共施設	10,100,000 円						
	その他	基金外	8,507,620 円						
	一般財源		173,052,989 円						
人件費コスト B			1.1人役	8,660,300 円		総事業費 A+B		200,320,909 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【小学校施設維持・管理】191,660,609円 0円 10,100,000円 8,507,620円 173,052,989円									
小学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校運営の充実を図った。また各種設置設備等について、法令等を遵守した適切な状態で維持し、安全に稼働させるため、清掃や保守点検業務を行った。									
● 市内小学校（17校）									
● 経費の内訳									
・報酬 31,098,095円									
・職員手当 9,866,443円									
・共済費 7,084,688円									
・旅費 75,500円									
・需用費 91,621,342円									
・役務費 11,999,340円									
・委託料 23,547,535円									
・使用料及び賃借料 7,242,705円									
・原材料費 467,356円									
・公有財産購入費 6,725,600円									
・備品購入費 1,932,005円									
 									
プール水道漏水修繕（島田）浄化槽ブローア修繕（能義）									

					決算事項別明細書			P60						
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課							
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計						
小事業		40	小学校保健管理費			款	10	教育費						
事業開始年度			令和7年度			項	02	小学校費						
事業進捗度			－			目	01	学校管理費						
当 初 予 算 額			7,764,000 円		目的	学校医と連携を図り、小学校児童の健康管理を充実する。								
予 算 現 額			7,764,000 円											
決 算 額 A			7,545,267 円											
財源内訳	国・県支出金		国	313,000 円										
	地 方 債			0 円										
	そ の 他			0 円										
	一 般 財 源			7,232,267 円										
人件費コスト B		0.4人役	3,149,200 円		総事業費 A+B		10,694,467 円							
【事業名称】										事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【定期健康診断】										5,588,380円	313,000円	0円	0円	5,275,380円
学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）による定期健康診断を実施した。実施に当たっては、へき地児童生徒援助費等補助金（保健管理費）を活用し、児童の健康状態を把握するとともに、疾病の予防及び治療について指導を行った。														
● 対象学年 内科・眼科・歯科：全学年 耳鼻咽喉科：1・2・5学年														
【各種検査】										1,589,940円	0円	0円	0円	1,589,940円
尿検査、心電図検査を実施することで児童の健康状態を把握し、疾病予防に努めた。														
● 対象学年 尿検査：全学年 心電図検査：1・4学年														
【感染症対策消耗品費】										366,947円	0円	0円	0円	366,947円
インフルエンザ等の感染症予防対策として、マスク、ハンドソープ、消毒液等を購入し、手洗いやうがいの励行を指導した。														

				決算事項別明細書				P60	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		教育総務課		
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		43	小学校整備費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	02	小学校費	
事業進捗度			－			目	01	学校管理費	
当初予算額			85,868,000 円		目的	小学校施設の整備・改修等を実施し、教育環境の安全確保と向上を図る。			
予算現額			85,868,000 円						
決算額 A			75,565,830 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債	過疎	70,100,000 円						
	その他	基金	4,400,000 円						
	一般財源		1,065,830 円						
人件費コスト B		1.1人役	8,660,300 円		総事業費 A+B		84,226,130 円		
【事業名称】				事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
【小学校整備事業】				75,565,830円	0円	70,100,000円	4,400,000円	1,065,830円	
小学校を運営していく上で、施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕、工事を実施した。									
● 経費の内訳									
・ 需用費				4,423,465 円					
・ 役務費				2,129,465 円					
・ 委託料				7,830,900 円					
・ 工事請負費				61,182,000 円					
● 工事内容									
・ 空調設備改修工事（島田、能義、飯梨、比田）				39,050,000 円					
・ トイレ改修工事（南、能義、飯梨、広瀬）				13,398,000 円					
・ 施設整備工事（荒島）				4,840,000 円					
・ 防火設備改修工事（母里）				3,894,000 円					
 									
 									
空調設備改修工事（能義）				トイレ改修工事（南）					
施設整備工事（荒島）				防火設備改修工事（母里）					

					決算事項別明細書			P60	
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署		学校教育課	
中事業		20	学校教育の充実			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		46	小学校教育振興費				款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度				項	02	小学校費
事業進捗度			－				目	02	教育振興費
当 初 予 算 額			23,979,000 円			目的	小学校児童の学習環境を整えることにより、児童の学習意欲の向上を図り、創造性豊かな学習を実践する。		
予 算 現 額			23,629,000 円						
決 算 額 A			21,929,337 円						
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県	1,139,000 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他		0 円						
	一 般 財 源		20,790,337 円						
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円			総事業費 A+B		26,653,137 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【小学校教育振興費】18,075,331円 30,000円 0円 0円 18,045,331円									
授業等で必要となる教材備品、図書、教師用指導書等の購入、安来市小学校体育連盟負担金、小学校教育研究会負担金の支払いを行った。									
また、スクールバスのない小学校の遠距離通学の児童に対して、広域生活バス定期券購入費用の補助を行った。広域生活バスが利用できない児童に対しても年額9,000円以内の補助を行った。									
【理科教育設備整備費等事業】2,265,706円 1,109,000円 0円 0円 1,156,706円									
理科教育設備整備費等補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図った。									
【学校プール代替事業】1,588,300円 0円 0円 0円 1,588,300円									
自校プールが老朽化により使用できなくなった赤屋小学校が近隣の井尻小学校プールで水泳学習を行えるよう送迎バスの借り上げを行った。あわせて、安来市民プール利用校に荒島小学校及び赤江小学校が加わり、施設のバスのみでは送迎対応が不足したため、別途送迎バスの借り上げを行った。									
(参考) 代替プール利用状況									
利用施設					利用校				
安来市民プール					荒島小学校、赤江小学校、宇賀荘小学校、南小学校 能義小学校、飯梨小学校、安田小学校、母里小学校				
広瀬勤労者体育センター					比田小学校、山佐小学校、布部小学校				
井尻小学校					赤屋小学校				
※自校プール・・・十神小学校、社日小学校、島田小学校、広瀬小学校、井尻小学校									

[illegible]

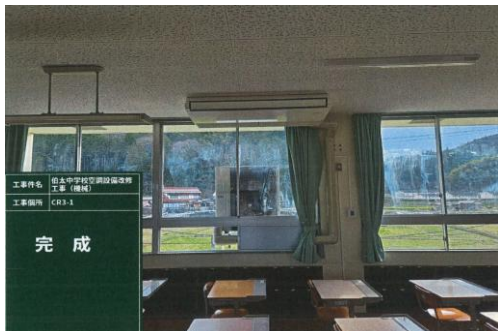
				決算事項別明細書				P61	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署			教育総務課	
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		58	中学校管理費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	03	中学校費	
事業進捗度			－			目	01	学校管理費	
当初予算額			78,326,000 円		目的	中学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校の維持管理を行う。			
予算現額			78,533,000 円						
決算額 A			69,106,193 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債	公共施設	2,800,000 円						
	その他	使用料外	592,714 円						
	一般財源		65,713,479 円						
人件費コスト B			1.0人役	7,873,000 円	総事業費 A+B			76,979,193 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【中学校施設維持・管理】69,106,193円 0円 2,800,000円 592,714円 65,713,479円									
中学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校運営の充実を図った。また各種設置設備等について、法令等を遵守した適切な状態で維持し、安全に稼働させるため、清掃や保守点検業務を行った。									
● 市内中学校（5校）									
● 経費の内訳									
・報酬 9,168,483円									
・職員手当 2,733,715円									
・共済費 2,201,623円									
・旅費 26,000円									
・需用費 38,170,883円									
・役務費 6,161,522円									
・委託料 8,539,520円									
・使用料及び賃借料 1,339,537円									
・原材料費 10,010円									
・備品購入費 754,900円									



エアコン修繕（三中）



トイレ漏水修繕（二中）

				決算事項別明細書				P61		
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		教育総務課			
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計		
小事業		67	中学校整備費			款	10	教育費		
						項	03	中学校費		
						目	01	学校管理費		
事業開始年度			令和7年度							
事業進捗度			－							
当初予算額			80,350,000 円							
予算現額			80,350,000 円							
決算額 A			73,652,150 円							
財源内訳	国・県支出金		0 円					目的	中学校施設の整備・改修等を実施し、教育環境の安全確保と向上を図る。	
	地方債	過疎	68,200,000 円							
	その他	基金	4,400,000 円							
	一般財源		1,052,150 円							
人件費コスト B			1.0人役	7,873,000 円			総事業費 A+B		81,525,150 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源										
【中学校整備事業】73,652,150円 0円 68,200,000円 4,400,000円 1,052,150円										
中学校を運営していく上で、施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕、工事を実施した。										
● 経費の内訳										
・ 役務費 5,364,150 円										
・ 委託料 4,499,000 円										
・ 工事請負費 63,789,000 円										
● 工事内容										
・ 特別教室棟非常階段改修工事（三中） 35,200,000 円 （令和6、7年度の2カ年で実施）										
・ 空調設備改修工事（二中、伯太） 15,059,000 円										
・ 校舎屋根改修工事（広瀬） 13,530,000 円										
										
非常階段改修工事（三中）										
										
空調設備改修工事（伯太）										
										
屋根改修工事（広瀬）										

					決算事項別明細書			P61	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署			学校教育課	
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		70	中学校教育振興費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	03	中学校費	
事業進捗度			－			目	02	教育振興費	
当 初 予 算 額			43,465,000 円		目的	中学校生徒の学習環境を整えることにより、生徒の学習意欲の向上を図り、創造性豊かな学習を実践する。			
予 算 現 額			39,448,000 円						
決 算 額 A			36,283,164 円						
財源内訳	国・県支出金		国1/2 県	4,218,000 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他		基金	11,700,000 円					
	一 般 財 源			20,365,164 円					
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B			41,006,964 円	
【事業名称】									
【中学校教育振興費】		29,220,148円		9,000円		0円		11,700,000円 17,511,148円	
授業等で必要となる教材備品、図書、教師用指導書等の購入、安来市中学校体育連盟負担金、中学校教育研究会負担金、中学校生徒派遣交付金の支払いを行った。 また、遠距離通学の生徒に対して、広域生活バス定期券購入費用の補助を行った。広域生活バスが利用できない生徒に対しても年額12,000円以内の補助を行った。									
【理科教育設備整備費等事業】		2,348,760円		1,174,000円		0円		0円 1,174,760円	
理科教育設備整備費等補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図った。									
【部活動地域指導者活用支援事業】		4,714,256円		3,035,000円		0円		0円 1,679,256円	
専門的な指導者がいない中学校の部活動に、実技指導力を備えた地域の社会人指導者（地域指導者及び地域連携指導員）を派遣した。									
対象校：計5校（全中学校） 運動部22名（野球、バスケットボール、バレーボール、卓球、体操、ソフトテニス） 文化部3名（吹奏楽、弦楽）									

					決算事項別明細書			P62	
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署		子ども未来課	
中事業		10	結婚・出産・子育て支援の充実			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		75	幼稚園等管理費				款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度				項	04	幼稚園費
事業進捗度			－				目	01	幼稚園費
当初予算額			34,279,000 円			目的	幼稚園・幼稚園型認定こども園の教育向上のため、必要経費を確保し運営の充実を図る。		
予算現額			29,879,000 円						
決算額 A			25,719,487 円						
財源内訳	国・県支出金	国1/3 県1/3	268,000 円						
	地方債		0 円						
	その他	使用料外	67,210 円						
	一般財源		25,384,277 円						
人件費コスト B		6.3人役	49,599,900 円			総事業費 A+B		75,319,387 円	
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【幼稚園管理事業】 25,719,487円 268,000円 0円 67,210円 25,384,277円									
園を運営していく上で必要な経費を確保し、園運営の充実を図った。また、設置設備等の安全な運転と法令等を遵守できる状態に維持するため清掃、保守点検業務を執行した。									
● 市内幼稚園・幼稚園型認定こども園									
・入園児童数 (単位：人)									
施設名	R3年度 (R3.5.1)	R4年度 (R4.5.1)	R5年度 (R5.5.1)	R6年度 (R6.5.1)	R7年度 (R7.5.1)				
安来幼稚園	35	28	24	19	15				
島田こども園	13	12	8	10	8				
計	48	40	32	29	23				

					決算事項別明細書			P62	
大 事 業		20	子育て・教育・文化		担当部署			地域振興課	
中 事 業		40	青少年の健全育成		予算科目	会計	01	一般会計	
小 事 業		12	社会教育総務費			款	10	教育費	
事業開始年度		令和7年度				項	05	社会教育費	
事業進捗度		－				目	01	社会教育総務費	
当 初 予 算 額			5,319,000 円			目的	社会教育活動の活性化を進め、地域教育力の向上を図る。地域資源を活用した体験学習を通して青少年健全育成の推進を図る。		
予 算 現 額			5,365,000 円						
決 算 額 A			5,173,026 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他	諸収入	18,702 円						
	一 般 財 源		5,154,324 円						
人件費コスト B		0.3人役	2,361,900 円		総事業費 A+B		7,534,926 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【社会教育事業】					4,435,026円	0円	0円	18,702円	4,416,324円
社会教育活動に携わる社会教育主事を雇用し、交流センターや外部講師等との連携によって、「大山自然体験」や「はじめての野外炊事」を「やすぎ子ども探検隊」事業として実施した。									
その他、社会教育委員の会を2回開催し、次世代の育成や社会教育委員の活動について意見交換を行い、地域教育力の向上に努めた。									
●実施講座：7回 雨天等中止：3回 連携事業：1回 総参加者数：103人									
									
夏休み自然体験「阿弥陀川沢登り」					星空観察会（月面X）				
【二十歳の集い開催事業】					738,000円	0円	0円	0円	738,000円
「令和8年安来市二十歳の集い」を二十歳の集い実行委員会に業務委託し、開催した。									
●期 日： 令和8年1月3日開催									
●会 場： 安来市総合文化ホール アルテピア									
●出席者： 306人（対象者379人）									
									
式典会場の様子（アルテピア大ホール）					二十歳の集い実行委員の挨拶				

決算事項別明細書					P62
大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		地域振興課
中事業	40	青少年の健全育成	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	結集子育て協働プロジェクト事業費		款	10 教育費
事業開始年度		令和7年度		項	05 社会教育費
事業進捗度		—		目	01 社会教育総務費
当初予算額		1,327,000 円	目的	地域住民が積極的に教育や子育て支援にかかわる環境づくりを進め、学校・家庭・地域住民の連携する仕組みを作ることにより、社会全体の教育力向上を図る。	
予算現額		1,327,000 円			
決算額 A		1,184,259 円			
財源内訳	国・県支出金	県2/3			
	地方債				
	その他				
	一般財源				
人件費コスト B		0.4人役	3,149,200 円	総事業費 A+B	4,333,459 円
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源 【結集子育て協働プロジェクト事業】 1,184,259円 757,000円 0円 0円 427,259円 地域学校連携・協働、放課後支援、家庭教育支援等の活動を総合的に調整する地域コーディネーターを中学校区等に配置した。学校・家庭・地域が連携・協働することによって、地域社会全体の教育力向上を図るとともに地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくり・人材育成研修を実施した。					
					
遊び創り（子どもの育ちを支えるスキルアップ講座）					
					
家庭教育支援（親学プログラム）					
					
ファシリテーター養成講座（親学プログラム）					
					
中学校区C S連絡協議会 （写真は大瀬中学校）					

				決算事項別明細書			P62	
大事業		70	参画・協働・行財政		担当部署		地域振興課	
中事業		20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		10	公民館総務費			款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度			項	05	社会教育費
事業進捗度			—			目	02	公民館費
当初予算額			4,109,000 円		目的	中央交流センター及び地区交流センターの共通する業務において入札契約等を包括的に行い、コスト削減や事務の効率化を図る。		
予算現額			4,109,000 円					
決算額 A			3,787,196 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地方債		0 円					
	その他		0 円					
	一般財源		3,787,196 円					
人件費コスト B		0.2人役	1,574,600 円		総事業費 A+B		5,361,796 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源								
【交流センター包括事業】3,787,196円 0円 0円 0円 3,787,196円								
損害賠償責任保険への加入や消防用設備保守点検業務委託等、中央交流センター及び地区交流センターで共通する業務を包括的に実施した。								
● 公民館総合保障制度損害賠償責任保険料 1,258,200円								
● 消防用施設保守点検業務委託料 1,100,000円								
● 甲種防火管理再講習受講料 3名 21,000円								
● 支障木伐採・除草作業 597,520円								
● 消耗品外 810,476円								
電話料金、テレビ受信料、敷地・器具借上料等								
								
敷地内支障木を伐採 (宇波交流センター)								

					決算事項別明細書			P62	
大事業		70	参画・協働・行財政		担当部署		地域振興課		
中事業		20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		15	中央公民館管理費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	05	社会教育費	
事業進捗度			－			目	02	公民館費	
当 初 予 算 額			28,455,000 円		目的	中央交流センターの維持管理を行い、生涯学習の場を提供するとともに、地区交流センターの包括的支援を行う。			
予 算 現 額			30,874,000 円						
決 算 額 A			29,134,999 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他	使用料外	191,941 円						
	一 般 財 源		28,943,058 円						
人件費コスト B		0.3人役	2,361,900 円		総事業費 A+B		31,496,899 円		
【事業名称】									
【中央交流センター維持管理事業】			29,134,999円		0円		0円		191,941円 28,943,058円
安来、広瀬、伯太の3つの中央交流センターにて、保守点検業務委託等、施設の維持管理を行った。									
●会計年度任用職員人件費					3,590,646円				
●光熱水費、燃料					6,518,231円				
●修繕料					2,456,058円				
●管理業務委託料					12,735,360円				
各中央交流センターの土日祝日、夜間の管理業務及び清掃業務									
●保守点検業務委託料					2,269,300円				
自家用電気工作物、エレベーター、空調設備等の保守点検業務									
●その他					1,565,404円				
消耗品、電話料金、テレビ受信料、敷地・器具借上料等									

					決算事項別明細書		P62
大事業		70	参画・協働・行財政		担当部署		地域振興課
中事業		20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01 一般会計
小事業		20	地区公民館管理費			款	10 教育費
事業開始年度		令和7年度		項		05 社会教育費	
事業進捗度		－		目		02 公民館費	
当初予算額			225,409,000 円		目的	地域コミュニティの中核である地区交流センターを中心に、地域振興事業や社会教育活動を通じて地域力の醸成を図る。	
予算現額			228,077,000 円				
決算額 A			222,667,387 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債	過疎	13,500,000 円				
	その他	使用料外	3,092,345 円				
	一般財源		206,075,042 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		227,391,187 円
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源							
【地区交流センター維持管理運営事業】 222,667,387円 0円 13,500,000円 3,092,345円 206,075,042円							
各地区交流センターの施設管理及び特色ある地域づくりを行うための地域振興事業を行った。人づくりの拠点である交流センターが、地域住民と共に地域の課題を掘り下げ、その解決に向けた学習実践活動を行った。							
● 事業費内訳							
・会計年度任用職員 163,254,365円							
地区交流センター24館の館長及び主事に係る報酬・手当、保険料 外							
・運営委託料							
活性化事業委託料（事業） 13,800,000円							
活性化事業委託料（管理） 33,093,000円							
・施設修繕 3,570,916円							
・消耗品外 8,949,106円							



文化祭（赤江交流センター）



ゆずジャムづくり（宇波交流センター）



すずめの楽校（ミニデイ）（安田交流センター）



夏休み川遊び（布部交流センター）

					決算事項別明細書			P62			
大事業		70	参画・協働・行財政		担当部署		地域振興課				
中事業		20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01	一般会計			
小事業		25	中央公民館整備費			款	10	教育費			
事業開始年度			令和7年度			項	05	社会教育費			
事業進捗度			－			目	02	公民館費			
当 初 予 算 額			22,200,000 円		目的	中央交流センター施設の整備及び改修工事を行う。					
予 算 現 額			19,580,000 円								
決 算 額 A			19,580,000 円								
財源内訳	国・県支出金			0 円							
	地 方 債		過疎	19,000,000 円							
	そ の 他			0 円							
	一 般 財 源			580,000 円							
人件費コスト B		0.2人役	1,574,600 円		総事業費 A+B		21,154,600 円				
【事業名称】											
【中央交流センター整備事業】		19,580,000円		0円		19,000,000円		0円		580,000円	
中央交流センターを適正に管理し安全に利用するため、施設の改修等を行った。											
● 実施事業及び事業費											
・ 安来中央交流センター屋根改修工事										19,580千円	
											
水捌けのよくなった3階屋上					2階部分屋上						

					決算事項別明細書			P62	
大事業		70	参画・協働・行財政		担当部署		地域振興課		
中事業		20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		30	地区公民館整備費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	05	社会教育費	
事業進捗度			－			目	02	公民館費	
当初予算額			5,000,000 円		目的	地区交流センター施設の整備及び改修工事を行う。			
予算現額			4,691,000 円						
決算額 A			4,575,964 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		過疎	3,900,000 円					
	その他		0 円						
	一般財源		675,964 円						
人件費コスト B		0.3人役	2,361,900 円		総事業費 A+B		6,937,864 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【地区交流センター施設整備事業】					4,575,964円	0円	3,900,000円	0円	675,964円
地区交流センターを適正に管理し安全に利用するため、施設の改修等を行った。									
● 実施事業及び事業費の内訳（市内交流センター3館）									
・ 社日交流センター 旧門球場改修工事						1,254,000円			
・ 宇波交流センター 給水装置修繕工事						1,980,000円			
・ 比田交流センター 調理室排水管修繕工事						1,177,000円			
・ 漏水調査手数料、グリストラップ清掃手数料						164,964円			
 事業所と漏水修繕部分を検査 （宇波交流センター）  碎石を敷き駐車場利用が可能に （社日交流センター）									

					決算事項別明細書			P63	
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署		文化課	
中事業		30	生涯学習の推進			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		15	市立図書館費				款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度				項	05	社会教育費
事業進捗度			－				目	03	図書館費
当初予算額			79,696,000 円			目的	生涯学習の場として市民の知る権利を保障する。また、図書、記録その他必要な資料を収集・整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究レクリエーション等に資する。		
予算現額			79,689,000 円						
決算額 A			78,057,636 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他	諸収入	327,468 円						
	一般財源		77,730,168 円						
人件費コスト B			1.5人役	11,809,500 円		総事業費 A+B		89,867,136 円	
【事業名称】									
【市立図書館費】			77,770,456円		0円	0円	327,468円	77,442,988円	
やすぎ・はくた・ひろせの各図書館（室）で様々な事業に取り組み、相互に巡回を通して連携を図った。									
●開館日数 やすぎ：292日 はくた：287日 ひろせ：279日 ●登録者数 15,391人（新規登録者数419人）									
●個人貸出冊数：189,515冊 団体貸出：36,075冊 市民一人当たり：5.5冊貸出（個人貸出のみ）									
主な事業									
●イベントや講座を開催し、利用者の増加を図った。									
●各施設への巡回図書等の事業を行い、利用者サービスの向上に努めた。									
・市民向け行事 安来探訪（3回）、まなべ～る講座（3回）、クリスマス会（2回） 外									
・読書普及活動 おはなしの会（124回）、図書館探検活動「ほんのくにの大ぼうけん」（4回） 外									
・展示 特別展示 なかよしえてがみ作品展、原爆の絵展、読書感想画作品展 外									
常設展示 お薦め図書、新着図書、話題の図書、書評に載った図書など12回									
・館外事業 小学校・交流センター等でのストーリーテリング、読み聞かせ									
・施設への巡回図書 認定こども園、幼稚園、交流センターなど53施設 貸出数：25,990冊									
・職場体験・施設見学の受入れ 職場体験：6回									
・広報 広報誌「メイプルつうしん」の発行（年6回）、図書館Instagramでの情報発信（随時更新）									
市報で新刊図書や各種お知らせについて掲載（毎月）、交流センターの広報誌で新刊図書を紹介（毎月）									
■図書館別来館者数(人)									
区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
やすぎ図書館		91,215	95,990	91,554					
はくた図書室		15,820	16,517	17,643					
ひろせ図書室		5,403	5,091	5,252					
計		112,438	117,598	114,449					
■図書館別貸出数（冊）									
区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
やすぎ図書館		175,312	173,785	180,526					
はくた図書室		37,174	34,422	31,821					
ひろせ図書室		22,361	14,425	13,243					
計		234,847	222,632	225,590					
■図書館別蔵書数（冊）									
区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
やすぎ図書館		165,235	166,531	167,165					
はくた図書室		80,494	81,832	82,066					
ひろせ図書室		19,945	20,713	21,752					
計		265,674	269,076	270,983					



まなべ〜る講座「テクスチャーアート」の様子



えいごのおはなし会の様子

【図書館改修事業】 287,180円 0円 0円 0円 287,180円

●利用者が安全に図書館を利用できるように、施設の維持管理や改修に努めた。

・消火器更新、市立図書館雨漏り箇所修繕 外

小ホール演出照明器具LED化

					決算事項別明細書			P63	
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署		文化課	
中事業		60	文化・芸術活動の推進			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		15	総合文化ホール運営費				款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度				項	05	社会教育費
事業進捗度			－				目	04	文化芸術施設費
当初予算額			169,629,000 円			目的	「演じる」「観る・聴く」「集う」を基本理念とした総合文化ホール「アルテピア」が、「まちづくり」「ひとづくり」の拠点施設となるよう管理運営を行う。		
予算現額			169,470,000 円						
決算額 A			168,742,421 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他	諸収入外	11,303,852 円						
	一般財源		157,438,569 円						
人件費コスト B		0.5人役	3,936,500 円			総事業費 A+B		172,678,921 円	
【事業名称】事業費国・県支出金地方債その他一般財源									
【総合文化ホール運営事業】155,588,692円0円0円6,703,852円148,884,840円									
総合文化ホール「アルテピア」の管理運営を指定管理者に委託し各種事業を行った。									
ワークショップ事業においては、市民が事業に直接参加・体験できる場を創出した。また、アウトリーチ事業、あるてびあ絵本市などの普及・支援を目的とした事業では、学生や親子連れなど、文化芸術に触れる機会の比較的小さい層へのアプローチを行った。									
令和7年度入館者数：152,318人									
アルテピア主催・共催事業（抜粋 ※自主採算事業除く。）（単位：人）									
開催日	公演等							来場者	
通年	ワークショップ事業							290	
通年	アウトリーチ事業							463	
R7.5.24	HAGANE MUSIC 2025 サキタハデメ							53	
R7.6.15	ブラック・ボトム・プラス・バンド コンサート							320	
R7.7.26	HAGANE MUSIC 2025 ともとのガラクタ音楽会							108	
R7.9.20	HAGANE MUSIC 2025 ヨーランモンソン							76	
R7.10.5	なかうみ交響楽団							600	
R7.10.23	NHK公開放送公演「新・BS日本のうた」							691	
R7.10.26	稲川淳二の怪談ナイト							500	
R7.11.8	DRUM TAO							701	
R7.11.12	イギリスの人形劇「ヤナと雪男」							124	
R7.11.16	キーウ・クラシック・パレエ2025							489	
R7.11.22	第34回 しまね映画祭in安来							399	
8月～12月	HAGANEツリー 展示事業							448	
R7.11.23	HAGANEツリー点灯祭2025							100	
R7.12.5	子どもたちのための音楽鑑賞会 パンノートマジック							1055	
R7.12.7	HAGANE MUSIC 2025 パンノートマジックspecial版							255	
R8.1.17	琴×笙コンサート							118	
R8.2.14	アルテピア プレミアムカフェスペシャルコンサート 岡本祥子							126	
R8.2.23	あるてびあ絵本市							500	
R8.3.29	春風亭昇太 独演会							710	

【子どもたちのための文化芸術鑑賞事業】 3,500,000円 0円 0円 0円 3,500,000円

市内小中学生を対象とした「子どもたちのための音楽鑑賞会」を開催し、1,055人の参加があった。質の高い音楽に触れる機会を創出することで、豊かな創造力を培うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、市の文化振興に繋げた。



子どもたちのための音楽鑑賞会（パンノートマジック）

【地域の文化・芸術活動事業】 4,600,000円 0円 0円 4,600,000円 0円

一般財団法人地域創造の助成事業を活用し、対象事業の実施に対して助成金を交付した。

事業名	申請団体
スティーロパン事業	AJ共同事業体
子どものコミュニケーション能力向上事業	AJ共同事業体
ヤナと雪男	AJ共同事業体

【その他文化振興事業】 5,053,729円 0円 0円 0円 5,053,729円

総合文化ホール施設利用料（安来市利用分）外

					決算事項別明細書		P63	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		文化課	
中事業		60	文化・芸術活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		20	和鋼博物館費			款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度			項	05	社会教育費
事業進捗度			－			目	04	文化芸術施設費
当初予算額			56,279,000 円		目的	和鋼博物館を中心に鉄に関わる歴史、文化等に関する資料の収集・保管・展示及び調査研究を行い、市民の利用に供し、文化の発展に資する。		
予算現額			58,626,000 円					
決算額 A			55,999,433 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地方債	過疎	14,900,000 円					
	その他	使用料外	3,457,859 円					
	一般財源		37,641,574 円					
人件費コスト B		1.7人役	13,384,100 円		総事業費 A+B		69,383,533 円	
【事業名称】								
【和鋼博物館管理運営業務】			39,480,382円	0円	0円	3,457,859円	36,022,523円	
●和鋼博物館運営における三本柱「たたら」「ハガネ」「日本刀」の事業及び研究を行った。								
●企業、小中学校・高校・大学、鉄の道文化圏、観光業界、友の会など関係先と連携した事業を行った。								
●観覧者数 10,886人（前年度 8,423人）鉄の道文化圏の事業「刀剣乱舞ONLINE」とのコラボ企画開催が観覧者数増大につながった。								
●貸室使用件数 38件（前年度 27件） 入場者数 3,198人（前年度 4,638人）								
								
鉄の道文化圏×刀剣乱舞ONLINEコラボ企画 オープニングイベント								
【学芸関係業務】			493,811円	0円	0円	0円	493,811円	
●古代たたら復元操業…たたら技術継承、ものづくりの歴史に触れる体験、たたら認知度拡大を目的として行った。（参加者数159人（延べ））								
●公開講座…鉄にまつわる日用品の手入れや実験を通して鉄について学ぶ機会を作った。「夏休みこども教室」では、砂鉄スライムを作る実験を加えるなど、知的好奇心を喚起する講座づくりを目指した。								
①包丁研ぎ教室（参加者数20人）								
②夏休みこども教室 鉄穴流し体験（参加者数38人）								
								
古代たたら復元操業			夏休みこども教室（鉄穴流し体験と砂鉄スライム作り体験）					
【和鋼博物館改修事業】			16,025,240円	0円	14,900,000円	0円	1,125,240円	
●設備…令和8年度から9年度にかけて計画するエントランスホールほか4室の空調設備改修に向け、熱源選定のため基本設計を行った。この結果、現行設備のうちダクト等の再利用が可能である点や、初期費用と維持経費のバランスを鑑み、空冷ヒートポンプチャラー（※）の採用を決定した。								
この決定を受け、実施設計を行った。 ※外気を取り込み排熱して温度調節する電気方式の空調機器								
●展示…基本設計を基に、展示資料、什器、照明、内装などの詳細を定める実施設計書の作成（R7～8）を開始し、本年度は業務内容の調整、基礎図面の作成を行った。								

					決算事項別明細書				P63						
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署			地域振興課						
中事業		60	文化・芸術活動の推進			予算科目	会計	01	一般会計						
小事業		25	文化学習館費				款	10	教育費						
事業開始年度			令和7年度				項	05	社会教育費						
事業進捗度			—				目	04	文化芸術施設費						
当初予算額			5,474,000 円			目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、文化の充実と振興を推進するため、はくた文化学習館の施設の維持管理を行う。								
予算現額			5,724,000 円												
決算額 A			5,601,085 円												
財源内訳	国・県支出金		0 円												
	地方債	過疎	800,000 円												
	その他		0 円												
	一般財源		4,801,085 円												
人件費コスト B			0.2人役	1,574,600 円		総事業費 A+B			7,175,685 円						
【事業名称】											事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【文化学習館維持管理事業】											5,601,085円	0円	800,000円	0円	4,801,085円
はくた文化館について保守点検の業務委託等、施設の維持管理、その他経年劣化した消火設備等の修繕を行い、施設利用者の利便性の向上を図った。															
● 事業費の内訳															
・ はくた文化学習館消火ポンプ改修工事 814,000円															
・ 光熱水費 3,086,015円															
・ その他委託															
機械警備保守・清掃委託 931,150円															
消防用設備保守点検 149,600円															
自家用電気工作物保安全管理 295,680円															
・ その他（消耗品・玄関マット交換 外） 324,640円															

					決算事項別明細書			P63	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		文化課		
中事業		60	文化・芸術活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		30	歴史・民俗資料館費			款	10	教育費	
事業開始年度		令和7年度		項		05	社会教育費		
事業進捗度		－		目		04	文化芸術施設費		
当初予算額			8,555,000 円		目的	展示品・収蔵品の保護に努め、将来にわたる文化伝承に資するとともに市民文化の醸成を図る。			
予算現額			8,756,000 円						
決算額 A			8,156,262 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他	使用料外	1,450,658 円						
	一般財源		6,705,604 円						
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		12,880,062 円		
【事業名称】事業費国・県支出金地方債その他一般財源									
【歴史資料館事業】6,404,967円0円0円1,450,098円4,954,869円									
安来市の古代から近代までの歴史について体系的に理解しやすい展示環境を整え、市民や観光客、学校教育での地域学習が進むように努めるとともに、歴史資料の保存管理・活用を進めた。企画展では、近年実施された富田川河床遺跡の出土品再調査によって存在が確認された「切銀」の展示を行い、多くの市民や観光客に見学してもらう機会となった。									
●ミニ企画展示コーナー									
(上半期) 富田城下町のおカネ事情									
(下半期) 戦後80年・月山富田城国指定90年企画 昭和10年幸盛會全国放送 戦争と鹿介									
●歴史資料館入館者数									
一般： 6,070名									
小中高大学生： 511名									
合計： 6,581名									
※1階富田城跡ガイダンスコーナー利用者									
25,640名									
(カウンターデータより)									
									
上半期ミニ企画展									
【民俗資料館事業・民俗資料館改修事業】1,751,295円0円0円560円1,750,735円									
安来市の昔の暮らしと生業にかかわる民俗資料の保存管理を進めるとともに、市民や観光客、学校教育での地域学習が進むような展示に努めた。									
併せて、収蔵庫の管理、民俗資料館改修に向けた資料整理を実施した。									
《R7年度学校教育利用実績》 3校 24名									

					決算事項別明細書			P64	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		文化課		
中事業		60	文化・芸術活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		40	文化財総務費			款	10	教育費	
事業開始年度		令和7年度		項		05	社会教育費		
事業進捗度		－		目		05	文化財保護費		
当初予算額		2,668,000 円		目的	歴史資料である指定文化財等を保護、活用することにより、地域づくり、まちづくりの振興に寄与する。				
予算現額		2,651,000 円							
決算額 A		2,405,398 円							
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他		0 円						
	一般財源		2,405,398 円						
人件費コスト B		0.4人役	3,149,200 円		総事業費 A+B		5,554,598 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【文化財総務事業】					470,398円	0円	0円	0円	470,398円
市内の文化財の保護と活用を行うため、安来市文化財保護委員等の専門的な知見を通じて、調査等を行った。また、安来市歴史文化講座を2回開催し情報発信を行った。特に第2回は今年度新たに安来市指定文化財となった「加納辰夫文書」の指定記念行事として実施した。									
《安来市歴史文化講座》									
第1回 「鎌倉末・南北朝時代の雲樹寺」									
講師：田村 亨 氏（島根県立古代出雲歴史博物館）									
令和7年5月18日 宇賀荘交流センター 聴講者：70名									
第2回 「講談＋講演でひもとく「加納辰夫文書」」									
講師：永井 均 氏（広島市立大学平和研究所教授）									
玉田玉秀斎 氏（講談師）									
令和8年3月8日 布部交流センター 聴講者：100名									
									
第1回歴史文化講座の様子					第2回歴史文化講座の様子				
【安来市文化財保存事業】					1,935,000円	0円	0円	0円	1,935,000円
重要文化財雲樹寺四脚門保存修理事業について、補助金を交付した。									
●重要文化財雲樹寺四脚門保存修理事業									
（事業費）23,220,230円									
国補助金 17,415,000円（事業費の3/4）									
県補助金 1,935,000円（事業費－国補助額の1/3）									
市補助金 1,935,000円（同上）									
事業者 1,935,230円（同上）									

					決算事項別明細書			P64	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		文化課		
中事業		60	文化・芸術活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		50	発掘調査事業費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	05	社会教育費	
事業進捗度			－			目	05	文化財保護費	
当 初 予 算 額			21,245,000 円		目的	開発予定地の分布・試掘調査を行い埋蔵文化財の有無の確認や重要遺跡についてその範囲・性格等の確認をすることで、各種開発事業を円滑に進める。			
予 算 現 額			3,803,000 円						
決 算 額 A			3,650,413 円						
財源内訳	国・県支出金	国1/2	1,673,000 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他		0 円						
	一 般 財 源		1,977,413 円						
人件費コスト B		1.0人役	7,873,000 円		総事業費 A+B		11,523,413 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【市内遺跡発掘調査等事業】					3,633,436円	1,673,000円	0円	0円	1,960,436円
各種開発事業を円滑に進めるため、開発予定地の試掘調査を実施。独松山霊苑急傾斜地対策工事予定地と安来市立第二中学校新校舎建設予定地の試掘調査を行った。また、飯梨穴神古墳の保存目的の発掘調査を実施した。									
									
独松山霊苑急傾斜地対策工事予定地試掘調査					飯梨穴神古墳発掘調査				
【文化財整理事業室管理事業】					16,977円	0円	0円	0円	16,977円
発掘調査等によって出土した遺物等の記録保存のため、整理事業を進める作業室の管理を行った。									

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

古代出雲王陵の丘造山公園の管理を地元団体に委託することにより、地域の魅力を活かした事業を展開し、同公園の有効利用を進めた。

史跡公園を保護活用するための草刈り、清掃などの維持管理経費。月山富田城跡花ノ壇トイレ排水再利用装置の修繕等を行った。

4月	2,195	10月	1,915
5月	2,408	11月	2,252
6月	1,526	12月	1,080
7月	1,173	1月	1,332
8月	1,450	2月	901
9月	1,567	3月	1,673
		合計	19,472

月山富田城跡 本丸草刈り整備状況

史跡公園の利便性を高めるための整備。古代出雲王陵の丘造山公園、月山富田城跡二ノ丸の説明板版面2枚を修繕した。



古代出雲王陵の丘造山公園駐車場説明板



月山富田城跡二ノ丸説明板

決算事項別明細書

P64

大事業	70	参画・協働・行財政		担当部署		人権施策推進課													
中事業	30	人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進		予算科目	会計	01	一般会計												
小事業	20	人権同和教育総務費			款	10	教育費												
事業開始年度		令和7年度			項	05	社会教育費												
事業進捗度		－			目	06	人権同和教育費												
当初予算額		9,482,000 円		目的	人権・同和教育の早期解決、あらゆる人権課題の啓発のため、地域と行政が一体となった取組を推進する。														
予算現額		9,574,000 円																	
決算額 A		9,511,086 円																	
財源内訳	国・県支出金	県定額	189,000 円																
	地方債		0 円																
	その他	諸収入	37,444 円																
	一般財源		9,284,642 円																
人件費コスト B		1.3人役	10,234,900 円	総事業費 A+B		19,745,986 円													
<table><tr><td>【事業名称】</td><td>事業費</td><td>国・県支出金</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr><tr><td>【人権同和教育事業】</td><td>9,511,086円</td><td>189,000円</td><td>0円</td><td>37,444円</td><td>9,284,642円</td></tr></table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【人権同和教育事業】	9,511,086円	189,000円	0円	37,444円	9,284,642円
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源														
【人権同和教育事業】	9,511,086円	189,000円	0円	37,444円	9,284,642円														
● 人権同和教育指導講師による啓発活動の実施 地域や企業等の要望に応える形で工夫をしながら啓発活動を実施した。 ・講座実施回数：28回 ・講座参加者数：789名 ● 安来市人権・同和教育推進協議会の活動 市内の事業所や企業、団体等で組織する協議会でイベントや研修会を実施し、様々な人権課題について啓発を行った。 主な事業 ・人権フェスティバル「つなげて未来や」の開催 期日：令和7年12月6日 会場：伯太中央交流センター（わかさ会館） 参加者数：200人 ・安来市企業等人権・同和教育研修会の開催 期日：令和7年8月28日 会場：安来商工会議所 参加者数：36人 ・各地区人権・同和教育推進協議会の活動支援 ・安来市職員人権・同和教育研修の実施																			
																			
指導講師による出前講座				人権フェスティバルでの講演会															
																			
安来市企業等人権・同和教育研修会				安来市職員人権・同和教育研修															

					決算事項別明細書			P64	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署			文化課	
中事業		60	文化・芸術活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		60	文化振興費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	05	社会教育費	
事業進捗度			－			目	07	文化振興費	
当初予算額			12,220,000 円		目的	安来市の文化・芸術活動の振興を図り、市民の文化向上に資する。			
予算現額			12,379,000 円						
決算額 A			12,204,180 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他		0 円						
	一般財源		12,204,180 円						
人件費コスト B		0.9人役	7,085,700 円		総事業費 A+B			19,289,880 円	
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【加納美術館管理事業】					11,004,180円	0円	0円	0円	11,004,180円
（公財）加納美術振興財団を指定管理者として、施設の維持管理及び運営を委託している。著名絵本作家の原画展、郷土の美術工芸展など、積極的な運営がなされている。主要テーマの一つとしている平和に関する展示及び教育普及活動では、市内外の学校の利用が進み、好評を得ている。3月には「加納辰夫文書」市指定文化財指定記念事業を実施し、好評を博した。物販や呈茶、レストランとの連携などの指定管理者独自の活動により、利用者満足度を高めている。絵画資料の修復、デジタルデータベース化など、所蔵資料の保存活用を進めた。建物設備管理においては、1月に発生した地震により生じた展示室の被害の修繕を行った。 ●展示 企画展4件を実施した（郷土1件、著名作家2件、平和1件）。入館者数9,155人（昨年度5,860人）。 ●資料保存 資料の保存管理を進めた。加納荳蔲作絵画「紫陽花」を修復した。 ●教育普及 企画展関連講演会、美術館講座(参加108人)、出前講座（参加2,437人）などを実施した。 ●建物設備 展示用スポットライト7基を購入した。地震で被害が生じた2階D展示室天井ボードを修繕した。									
									
企画展展示風景 「こうげいやすぎ式 緋の美」					企画展見学風景 安来市立第二中学校				
【総合文化祭、美術展開催事業】					1,200,000円	0円	0円	0円	1,200,000円
●第21回安来市総合文化祭（開催期間 R7.10.17（金）～11.8（土）） 芸術文化を愛好する市民に気軽に発表できる機会と場を提供するとともに、作品を鑑賞すること等で芸術文化への関心を高めることを目的として開催した。安来総合文化ホールなどで展示部門や文芸部門、ステージ部門など13部門で多彩に開催し、出展・参加者数580人、来場者数1,023人を数えた。 ●第19回安来市美術展（開催期間 R7.9.13（土）～9.18(木)） 広く市民から美術作品を募り、そのうちから優れた作品を展示して、発表と鑑賞の機会をつくり、美術、文化の振興に寄与するため開催した。安来市総合文化ホールにおいて、洋画、デザイン、写真、日本画・水墨画部門の展示を行い、出展者数105人、来場者数451人を数えた。									
									
安来市総合文化祭					安来市美術展				

					決算事項別明細書			P64	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署			地域振興課	
中事業		50	スポーツ活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		10	保健体育総務費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	06	保健体育費	
事業進捗度			－			目	01	保健体育総務費	
当 初 予 算 額			131,971,000 円		目的	市民が自主的にスポーツや運動に取り組 み、交流を深める機会を提供し、地域づ くりとスポーツ活動の推進を図る。			
予 算 現 額			132,230,000 円						
決 算 額 A			130,737,628 円						
財 源 内 訳	国・県支出金		0 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他	基金外	43,644,985 円						
	一 般 財 源		87,092,643 円						
人件費コスト B		1.2人役	9,447,600 円		総事業費 A+B			140,185,228 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【スポーツ推進審議会審議事業】2,159,200円 0円 0円 0円 2,159,200円 第2期安来市スポーツ推進計画の進捗管理及び第3期計画策定を行った（年4回開催）。									
【スポーツ・文化全国大会等出場激励金交付事業】1,030,000円 0円 0円 0円 1,030,000円 スポーツ競技・文化活動の国際大会及び全国大会に出場（出展）する個人及び団体に対して安来市スポーツ・文化全国大会等出場激励金を交付した（国内大会 個人21件・団体12件：国際大会 個人1件）。									
【スポーツ推進委員活動事業】1,490,600円 0円 0円 5,000円 1,485,600円 安来市スポーツ推進委員を38名委嘱し、地域のスポーツ活動において積極的にリーダーシップと指導力を発揮してもらうため、委員が組織する連絡協議会で研修等を行い、自らの意識改革とスキルアップを図った。また、委員の主導による障がい者スポーツの普及や安来市体力テスト等を行った。									
【国スポ・インターハイ準備事業】21,940,943円 0円 0円 13,692,707円 8,248,236円 令和7年度「全国高等学校総合体育大会」は中国ブロックで開催（会期：8月5日～8月9日）され、安来市は「フェンシング」競技を開催した。また、令和12年度は「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」が島根県で開催され「テニス」「バレーボール」「フェンシング」の3種目を安来市で開催することが予定されている。 大会の開催に向け、競技力向上を目指すとともに、市民の機運醸成を図るため、各競技団体との調整など事前準備を進めた。									
【eスポーツ機会創出事業】743,302円 0円 0円 743,302円 0円 令和8年1月6日に発生した地震の影響で開催は中止したが、「eスポーツ運動会」の開催に係る業務委託のうち準備に要する費用を支出した。									
【体育施設指定管理事業】90,034,000円 0円 0円 15,903,976円 74,130,024円 体育施設の管理運営を指定管理者に委託し、スポーツ事業の促進と施設の利用者増を図った。									
【安来市スポーツ協会補助事業】13,107,000円 0円 0円 13,100,000円 7,000円 安来市スポーツ協会に補助金を交付し、市内スポーツの競技力向上、スポーツ・レクリエーション活動の推進に資する事業を行うことで、市民のスポーツに対する意識の高揚を図った。									
【その他スポーツ振興事業】232,583円 0円 0円 200,000円 32,583円 スポーツ指導者研修会の開催等を行った。									

					決算事項別明細書			P64	
大事業		20	子育て・教育・文化			担当部署		地域振興課	
中事業		50	スポーツ活動の推進			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		15	体育施設管理費				款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度				項	06	保健体育費
事業進捗度			－				目	02	体育施設費
当初予算額			19,118,000 円			目的	スポーツ施設を適切に維持管理するとともに、利用者の利便性向上を図る。		
予算現額			20,048,000 円						
決算額 A			18,467,606 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地方債			0 円					
	その他	使用料外	924,147 円						
	一般財源		17,543,459 円						
人件費コスト B		0.8人役	6,298,400 円		総事業費 A+B		24,766,006 円		
【事業名称】									
【体育施設環境整備事業】			625,680円		0円	0円	0円	625,680円	
体育施設の除草等の環境整備や安全の確保に努めた。									
【体育施設修繕事業】			5,971,388円		0円	0円	0円	5,971,388円	
体育施設の維持管理、施設修繕を行い、安全で快適なスポーツ環境の提供に努めた。									
● 管理施設									
・社会体育施設									
安来球場、安来西部球場、伯太運動広場、安来南体育館、広瀬体育館、伯太体育館 広瀬勤労者体育センター、東比田運動広場、山佐運動広場									
・都市公園施設									
安来公園（市民体育館）、安来運動公園（庭球場、野球場、陸上競技場、市民プール） 広瀬中央公園（総合体育館、庭球場、野球場、陸上競技場）									
【体育施設管理事業】			11,870,538円		0円	0円	924,147円	10,946,391円	
体育施設の保守管理を行い、適切な施設運営を行った。									
● 伯太体育館管理業務									
● 広瀬勤労者体育センター管理指導業務									
● 伯太体育館自家用電気工作物保安管理業務									
● 安来西部球場浄化槽維持管理業務									
● 光熱水費等管理経費									
● スポーツファシリティーズ保険									
● 島根県スポーツ施設協会負担金									

【繰越明許】

決算事項別明細書

P64

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	地域振興課
中事業	50	スポーツ活動の推進	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	20	体育施設整備費		款 10 教育費
事業開始年度		令和7年度		項 06 保健体育費
事業進捗度		—		目 02 体育施設費
当初予算額		0 円	目的	老朽化した施設及び設備の改修を行い、安全・快適な施設を提供する。施設の利便性を向上させ、利用者人口の拡大を図る。
予算現額		35,032,000 円		
決算額 A		35,031,500 円		
財源内訳	国・県支出金	0 円		
	地方債	過疎 35,000,000 円		
	その他	0 円		
	一般財源	31,500 円		
人件費コスト B		0.1人役 787,300 円	総事業費 A+B	35,818,800 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【体育施設整備事業】	35,031,500円	0円	35,000,000円	0円	31,500円

●安来市民体育館屋根防水改修工事

令和7年度全国高等学校総合体育大会のフェンシング競技の主会場となる安来市民体育館の屋根全体に亀裂ができ雨漏りが発生した。競技の実施に支障を来すことから、屋根の防水改修を実施した。

※令和6年度、7年度の2か年で工事を実施。



安来市民体育館屋根
現場確認



安来市民体育館屋根
現場確認



安来市民体育館
雨漏り箇所

					決算事項別明細書			P64				
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署			地域振興課				
中事業		50	スポーツ活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計				
小事業		20	体育施設整備費			款	10	教育費				
事業開始年度			令和7年度			項	06	保健体育費				
事業進捗度			－			目	02	体育施設費				
当 初 予 算 額			8,900,000 円		目的	老朽化した施設及び設備の改修を行い、安全・快適な施設を提供する。施設の利便性を向上させ、利用者人口の拡大を図る。						
予 算 現 額			103,550,000 円									
決 算 額 A			42,570,000 円									
財源内訳	国・県支出金			0 円								
	地 方 債	過疎	40,800,000 円									
	そ の 他	基金	1,700,000 円									
	一 般 財 源		70,000 円									
人件費コスト B		0.8人役	6,298,400 円		総事業費 A+B			48,868,400 円				
【事業名称】												
【体育施設整備事業】			42,570,000円		0円		40,800,000円		1,700,000円		70,000円	
体育施設の施設改修及び整備を行い、安全で快適なスポーツ環境の提供に務めた。												
● 国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会会場改修基本計画策定												
令和12年度国民スポーツ大会では、安来市民体育館がバレーボール、フェンシング、ダンススポーツ、エアロビック競技会場に、安来運動公園がテニス競技の会場になる予定である。各競技の施設基準等に基づき、必要な施設改修等を行うため、各会場の改修基本計画を策定するための調査を実施した。												
● 安来運動公園野球場スコアボード改修設計												
野球場の電光スコアボードが故障したため、LED式スコアボードに改修するための設計業務を行った。												
● 安来運動公園野球場スコアボード改修工事												
野球場の故障した電光スコアボードをLED式に改修する工事を行った。スコアボードの躯体はそのまま活用し、表示パネルをLED式に改修する方法とした。												
※翌年度繰越額 58,080,000円（工事監理業務委託2,310,000円、工事請負費55,770,000円）												
実施設計後の発注となり、7か月～8か月程度の工期が見込まれ工事期間が次年度に及ぶため。												

					決算事項別明細書			P64	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署			給食教育課	
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		76	学校給食管理費			款	10	教育費	
事業開始年度			令和7年度			項	06	保健体育費	
事業進捗度			－			目	03	給食施設費	
当 初 予 算 額			3,006,000 円		目的	市内小中学校において、安全・安心かつ円滑に給食を提供する。			
予 算 現 額			3,006,000 円						
決 算 額 A			1,895,078 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他			0 円					
	一 般 財 源			1,895,078 円					
人件費コスト B		0.1人役	787,300 円		総事業費 A+B			2,682,378 円	
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【学校給食管理事業】					1,895,078円	0円	0円	0円	1,895,078円
市内小中学校の学校給食の衛生管理及び提供体制を整え、児童生徒に対して安全で安心な給食を提供した。									
●事業費内訳									
需用費（給食衣、衛生用品外）					1,587,078 円				
役務費					173,800 円				
器具費					134,200 円				

				決算事項別明細書			P64	
大事業		20	子育て・教育・文化		担当部署		給食教育課	
中事業		20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		79	給食センター管理費			款	10	教育費
事業開始年度			令和7年度			項	06	保健体育費
事業進捗度			－			目	03	給食施設費
当初予算額			478,612,000 円		目的	給食センターの管理運営を行い、市内小中学校に給食を提供する。		
予算現額			496,896,000 円					
決算額 A			470,689,418 円					
財源内訳	国・県支出金	国 県10/10	9,104,000 円					
	地方債	過疎	28,100,000 円					
	その他	諸収入外	170,686,217 円					
	一般財源		262,799,201 円					
人件費コスト B		6.1人役	48,025,300 円		総事業費 A+B		518,714,718 円	
【事業名称】								
【給食センター管理事業】			470,689,418円	9,104,000円	28,100,000円	170,686,217円	262,799,201円	
市内小中学校に給食を提供した。（518,011食/年、年間193日）								
（事業費内訳）								
●賄材料費				188,041,222 円				
●光熱水費				18,050,777 円				
●燃料費				10,868,533 円				
●修繕料				13,186,184 円				
●その他需用費（消耗品費、印刷製本費）				10,004,730 円				
●役務費（手数料、火災保険料外）				1,128,413 円				
●委託料（調理、炊飯、配送、警備、保守点検外）				223,636,781 円				
●器具費				5,181,528 円				
●その他				591,250 円				
※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業								



揚げ物作業（から揚げ）



リクエスト献立（ハヤシライス）